

Occupational Therapy Intervention Process Model (OTIPM:オティプム) 作業療法介入プロセスモデル

～トップダウンで、クライアント中心の、作業を基盤とした、
評価、介入および文書化を実践するためのモデル～

第2回基礎講習会開催のお知らせ

日時：9月13日（木）～14日（金）09:30～17:00（2日間）

場所：茨城県立医療大学 福利厚生棟2階 集会室1

<概要>

Eleanor Clarke Slagle 記念講演を基盤に、Dr. Anne Fisher の提唱している作業療法の専門的リーゾニングのためのモデルの講習会です。作業療法介入プロセスモデル（OTIPM）(Figure1, 2013)は、作業療法士が、作業を基盤にそして作業に焦点をあてたサービスを計画し実施する時の、リーゾニングを導く作業中心の見通しのある実践が出来ているかを吟味するとき可以使用できる専門的リーゾニングモデルといえます。

作業療法の専門性を明示する作業療法プロセスとはなにか、作業を中心にどうやって評価し、介入に結び付けていったらよいか、作業中心に評価・介入をすることとその文書化、作業療法における位置づけを学びたい、自らの考えを深めていきたい方に特におすすめの講習会です。

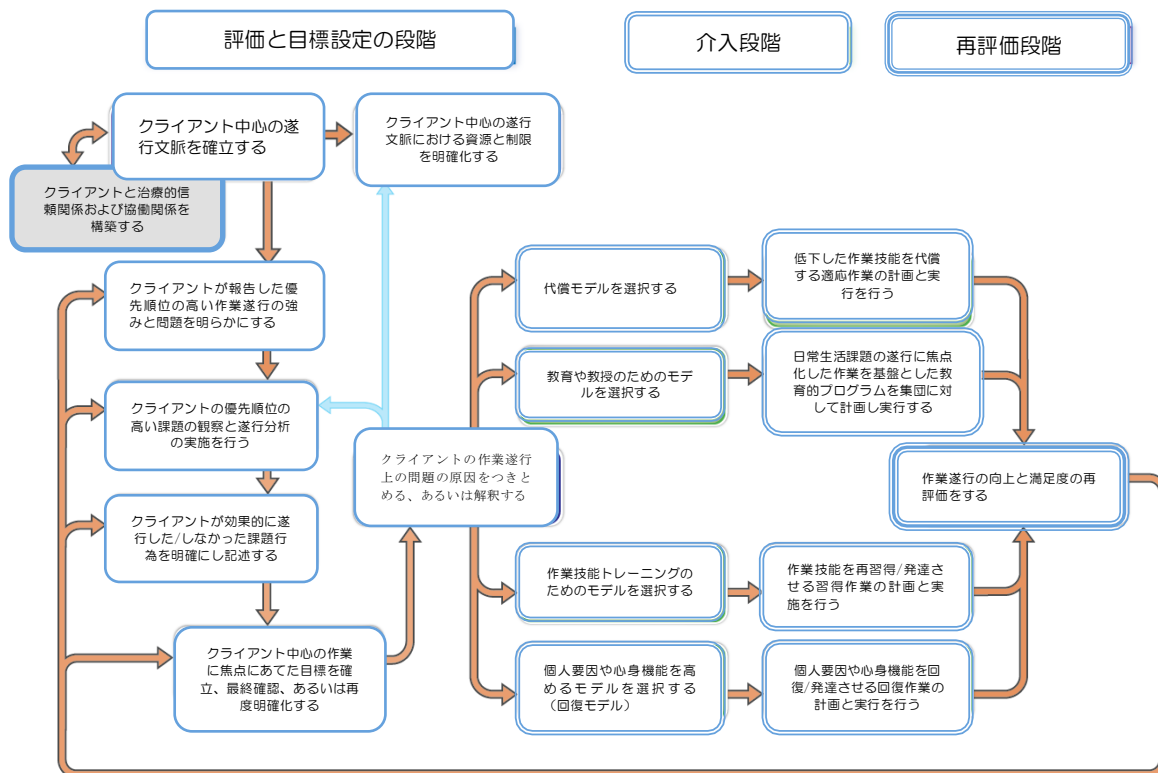


Figure 1. Schematic representation of the Occupational Therapy Intervention Process Model. Adapted from: Fisher, A. G. (2009). *Occupational Therapy Intervention Process Model: A model for planning and implementing top-down, client-centered, and occupation-based interventions*. Fort Collins CO: Three Star Press. (Revised June 2013)

開発者の Dr. Anne Fisher は OTIPM の基本前提を、次のように述べています。

手段（介入）と結果（直接的結果）としての効果的な作業の使用は、真のトップダウンとクライアント中心が一致したコミットメントに依存している。もし、作業療法士が、ヘルスケアへの作業療法特有の貢献を理解し、測定可能な作業に焦点をあてたベースライン、目標と結果を確かなものにすれば、作業療法士はまた、利用者、第三者そして他職種に作業療法の理解を深める良き提唱者になることができる。作業療法士が誰で、作業療法士が行うことがどのように唯一無比であるかを伝える一方で、評価、介入、そして文書の中で作業遂行を強調することは、クライアントの生活の質を向上させる重要な手順である。（OTIPM 講習会広報資料訳、2013）

講習会構成の説明

OTIPM は3日間以上で、理論的および実践的要素の両方を学ぶことが推奨されています。そこで、日本では、基礎講習会2日間、実践講習会2日間（日時未定）に分けて、講習会を開催します。AMPS（運動とプロセス技能の評価法）講習会、School AMPS（学校版運動とプロセス技能の評価法）講習会、ESI（社会交流技能評価法）講習会を受講されている方は、実践講習会のみでの参加でも有用だと思いますが、概念的な整理をかねて可能な限り基礎講習会を受講されてから、実践講習会に参加していただくことをお勧めします。

OTIPM 基礎講習会の目的

2日間の OTIPM 基礎講習会の終了時には、参加者は以下の事を理解できるようになること。

- OTIPM の概要
- 作業中心の専門的リーゾニング
- 回復、習得そして代償作業療法のそれぞれの違いと、準備、単純練習、模擬作業、回復作業、習得作業、および代償的作業の違い
- 作業を基盤とした、そして/又は作業に焦点をあてた作業療法評価の文書化

****OTIPM 実践講習会の目的（日時未定）

2日間の OTIPM 実践講習会の終了時には、参加者は以下の事を考えられる、あるいは実践できるようになること。

- 作業を基盤とした、そして/又は作業に焦点をあてた作業療法評価の文書化とそれに基づく介入、トップダウンリーゾニングをどう実践に応用するか
- どう他の作業療法モデルや評価法を OTIPM へつなげるか
- どう作業療法モデル以外の理論やモデル、手技を、作業療法の専門性を失うことなく、作業療法プロセスにつなげられるか

*いずれの講習会も、講義だけでなく、参加者同士が話し合ったり、参加者自身で自身の臨床経験を振り返りながら進められていきます。ビデオによるクライアントの観察評価を試み、それをベースにすすめていきます。

基礎講習会スケジュール

< 1日目 >

- 09:30-09:50 受付
- 09:50-11:00 作業療法——日常でしていることの可能化
- 11:00-11:10 休憩
- 11:10-12:10 作業療法介入の種類
- 12:10-13:20 昼休み
- 13:20-14:50 OTIPMの概要
- 14:50-15:10 休憩
- 15:10-16:40 臨床における作業療法評価プロセスの比較
- 16:40-17:00 作業中心の作業療法実践の効果

< 2日目 >

- 09:30-10:00 事例検討—クライアント中心の遂行文脈
- 10:00-10:50 ⇒背景情報、申し送り、および作業遂行の自己申告レベルの文書化
- 10:50-11:00 休憩
- 11:00-12:30 事例検討—遂行分析の実施(運動とプロセス技能)
- 12:30-13:40 昼休み
- 13:40-15:00 ⇒遂行のベースラインレベルとクライアント中心の目標の文書化
- 15:00-15:20 休憩
- 15:20-16:20 事例検討—介入計画と文書化
- 16:20-17:00 まとめ—実践に向けての課題

注：時間は変更されることがあります。

主催：日本作業遂行研究会